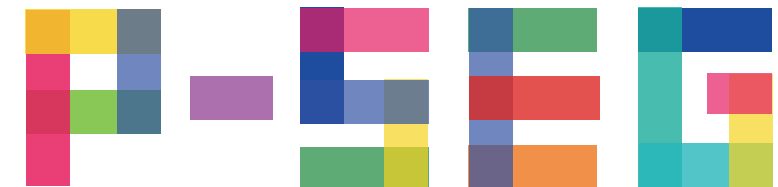


セカイを変えよう

*Interactive Program for
Spirit of Enterprise
in Global Contexts*



INTERACTIVE
INTERACTIVE



2021



インターラクティブ



学長からの ことば



学長 佐野 輝

世界では、自然環境、産業、経済、社会、文化などあらゆる分野において急速な変化が起きています。そして、その変化は国境を越えて互いに強い関わりを持っています。今や、人類にとってその生存を脅かす種々の問題が、一つの国家単位では対処できない全地球的な規模で生じていると言っていいでしょう。鹿児島大学ではその教育目標の一つとして、「グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む」と謳っています。国際的な広がりを見せる問題を解決するためには、若い世代の人々が、異なる価値観が交錯する状況で幅広く多様な知識と経験を積み、国内外を問わず他者と協力して柔軟に行動できる力を身につけることが望まれます。鹿児島大学の多くの学生諸君に海外連携機関との双方向交流や協働学習を主とする「進取の精神グローバル人材育成 双方向交流プログラム」に参加いただき、グローバルなレベルで困難に挑戦し、成長するヒントを掴んでほしいと思います。

P-SEG Interactive 始動

P-SEG の呼称で親しまれてきた「進取の精神グローバル人材育成プログラム」は、双方向交流をコンセプトに P-SEG Interactive へと進化しました。Interactive とは、海外連携機関のパートナーと共に学び合うことを意味しています。プログラムでは、海外での研修（派遣）や鹿児島での実習（受入）、その事前・事後学習、語学学習、留学、インターンシップ等を行い、グローバル社会で活躍するために必要な能力を身につけていきます。海外には日本では学べない様々な取り組み、深刻な問題に向き合うチャレンジ精神、日本では気づかない考え方や価値観、人と人との関係などが存在します。例えば、ヨーロッパや中東における宗教や文化の多様性、北米におけるビジネスとイノベーション、発展途上国における貧困や環境問題と先進国の経済のつながりなどは、実際に現地を訪問してグローバルな視点で眺めない限り理解が難しく実感もできない問題です。また、海外連携校の学生とともに鹿児島で行う実習は、彼らの視点で日本や鹿児島を見直し、これまで見えていなかった問題や可能性を発見することにつながります。P-SEG Interactive

は、学生の皆さんに国際協働学習を通じて、21世紀の社会が抱える様々な課題に対して向き合い、考え、立ち向かっていける「進取の精神」をグローバルなレベルで身につけてもらうプログラムです。社会に出て活躍したい、国際的な環境で研究をしたい、多様性に富んだ豊かな地域づくりに貢献したいなど、様々な夢をもつ学生の皆さんに本プログラムを受講してもらいたいと思います。



1 P-SEG Interactive 概要

P-SEG Interactive は、海外のパートナー機関と協働で実施するプログラムです。本学から海外への学生派遣と、海外連携校からの学生受入を中心に、その前後に行うオンラインを活用した国際協働学習や研修成果報告会など、参加者が双方向に交流するための様々な活動を用意しています。P-SEG Interactive の各プログラム実施において、本学が連携している機関は、タイ、韓国、中国、台湾、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、米国、ブラジル、欧州や中東等にあり、それぞれの研修内容や目的に応じて参加することができます。また、各プログラムは学年に応じて段階的に参加できるよう配置されています。まず、1～2年生を対象に共通教育科目として開講されている海外研修は、異文化理解や批判的思考力の育成を目的としています。次に、高度共通教育科目として2年生以上を対象に開講されている海外インターンシップや留学プログラムがあります。ここでは、コミュニケーション力に加えて、自ら行動する力が重要になります。また、学部専門科目もしくは大学院科目として開講されている海外研修では、課題を見出すだけでなく、実際に海外パートナーと連携しながら専門的な知識を用いてリサーチを行い、課題解決をめざします。

P-SEG 説明会
受講登録



グローバルに活躍！



2 Global Competency の育成

鹿児島大学がめざすグローバル教育は、多様で誰一人取り残さない豊かな世界を構築するために、一人一人に必要な能力を育成するものです。コミュニケーション力や論理的思考力、高度な専門的知識はむろんのこと、生まれも育ちも異なる他者の「生」に共感する力も必要です。こうした能力（Global Competency）はどのように身につけることができるのでしょうか？本プログラムでは、上述の教育目標に沿って育成する具体的な力を以下のように定め、その育成に取り組んでいます。

Global Understanding

自己の立脚する歴史と文化の価値を深く認識すると共に、他国の文化やその独自性・多様性を尊重し、自国を相対的に捉えることができる。

Global Exploration

グローバル化する世界の現状を認識し、多文化的状況や急速な文化変容、異文化の交錯に適応すると共に、困難な問題に立ち向かい、既存の価値観を超えた柔軟な判断により解決策を提案できる。

Global Actions

多文化的状況において自立して行動し、母国語と外国語で意思を明確に伝えとる共に議論や提案を行い、人的ネットワークを活かすことによって問題解決に取り組むことができる。

3 P-SEG Interactive への参加に向けて

P-SEG Interactive では、海外で実施する協働学習（派遣）、鹿児島で行う協働学習（受入）、オンライン上で行う協働学習（COIL）の3つの活動を組み合わせて継続的に参加しながら、在籍期間を通して海外の学生との交流を積み重ねていくことが重要です。



COIL

*Collaborative
Online
International
Learning*

COIL（コイル）は、オンライン国際協働学習という新しい学習方法です。海外連携大学と一つの授業を共有し、二カ国の学生が共通の課題に対して共に学びます。一方向のオンライン講義とは異なり、教員は自分のクラスの学生だけでなく、連携大学の学生に対しても講義や助言を行います。学生たちは、双方向にプレゼンテーションや、ディスカッションを行います。対面で行う海外研修（Immersion Program）の事前・事後学習に COIL を用いることで、訪問先の情報を調べたり、研修後の総括や成果共有を連携校と協働で行うことができます。COIL には、同期型（synchronous）と非同期型（asynchronous）があり、時間と空間を超えて行うことができます。

例えば、1年の夏に海外研修（派遣）に参加する場合、海外をゲストとして訪問し、様々な学びを得て帰国します。帰国後それまでの生活に戻るのではなく、海外で知り合った人とのつながり（ネットワーク）や、自国を外から見る経験の中で獲得した視野を生かして欲しいと考えています。そのためには、1年の後期もしくは2年次に、受入プログラムに参加して、今度はホストとして海外の学生を迎える経験を持って下さい。他国でゲストとなり、自国でホストとなる経験を重ねる中で、他者を理解する力や自己を表現する力は育っていきます。ゲストとしてお世話になった恩を必ずしも同じ相手に返す必要はありません。派遣と受入の双方向交流を繰り返しながら、国や文化の違いを超えて互いに支えあう関係性を手に入れて下さい。プログラムへの参加を通して、皆さんは、言葉の壁はそれほど高くないことに気づくでしょう。相手を理解しようと心を砕くこと、相手のためにどれだけ自分の時間を使うことができるかなど、ごく当たり前の誠実な態度を国際交流において持つことが、本プログラム参加の条件になります。

4 P-SEG Interactive 推奨科目

「グローバル・イニシアティブ概論」

共通教育科目の海外研修の事後学習として開講されています。様々に異なる地域を訪れた学生が一堂に集まり、海外での体験を共有し合い、海外研修を通じた気づき、発見、学びを深めることを目的としています。海外研修の体験をベースに課題発見を行うグループ・ディスカッション、海外研修の成果を他者に伝えるプレゼンテーション、海外留学制度の紹介や留学に向けての具体的な準備を行います。

「Kagoshima de SDGs」Ⅰ&Ⅱ

受入プログラムとその事前・事後学習として高度共通教育科目で開講されています。海外学生との国際協働学習と、専門分野の異なる日本人学生との協働学習を行います。Ⅰ.講義編では、鹿児島をフィールドに SDGs17ゴールについて様々な観点から学びます。健康、農業、エネルギー、格差、教育、インフラストラクチャー、まちづくりなど、テーマは多岐に渡り、鹿児島の抱える課題や未来について考えます。Ⅱ.実習編では、海外からの受入プログラムの一環として、海外学生と本学学生とが、テーマごとに別れ、鹿児島地域でフィールドワークを行います。その成果は、報告会を開催して全体で議論します。

5 語学プログラム

英語力の強化 Intensive English Course



コミュニケーション能力を高めたいと思う人に向けて、英語学習の機会を設けています。Debate & Discussion コースと、TOEFL コースを開講しています。いずれも初級、中級、上級に分かれており、各自のレベルに応じて選ぶことができます。放課後に実施しており、単位はありません。週1回90分、全10回の授業に出席する必要があります。また、希望者は自身の英語能力を確認するため、TOEFL 模擬試験を受験することができます。TOEFL は、英語圏の大学に留学を希望する人には必須の試験になりますので、準備のために模擬試験を活用して下さい。

多言語・多文化交流の場 グロスぺ Global Language Space



日本人と留学生の交流の場グロスぺを、学習交流プラザ2階に設けています。グロスぺでは、海外活動の情報を集約して掲示するとともに、先輩の留学報告「伝えよう！私の海外体験」や日本人学生と留学生が対等な関係で互いの言語や文化を学ぶグループ学修「グロスぺ外国語」、「外国語 Speaking Lunch Table」等を行っています。また、留学生と行う楽しい学生企画も受け入れます。留学生と相談して国際協働プロジェクトに挑んでみませんか。

海外研修支援制度

鹿児島大学では、地域の企業等の寄付による「鹿児島大学『進取の精神』支援基金」によって、大学が認定した海外研修に参加する学生に対して、旅費の一部支援を行っています。さらに、日本学生支援機構（JASSO）の「海外留学支援制度」に採択されている研修もあり、成績係数（GPA）や家計基準を満たす学生に対して、奨学金を支給しています。

学研災付帯海学への加入

プログラムに参加する学生は、海外での事故や病気に備えるため、「学研災付帯・海外留学保険」（略称：学研災付帯海学）への加入を義務づけています。学研災付帯海学は、「学生教育研究災害傷害保険」（略称：学研災）への加入を前提としているため、在学中に海外研修や海外留学を希望される方は、入学後、速やかに学研災に加入することをお勧めします。学研災は正課授業だけでなく、大学行事や課外活動中、通学途中の事故などにも対応しており、学生が教育研究活動中に被った災害に対して必要な給付を行うものです。まずは、学研災に加入して日常の事故に備え、海外研修や留学に行く前には、さらに学研災付帯海学に加入することが必要です。

1-4
前期

共通教育

稲盛

山口 明伸

稲盛アカデミーベトナム事務所・ベトナム社会科学院

植民地化やベトナム戦争の辛苦を乗り越えて国の復興を成し遂げ、発展に取り組んでいるベトナムの歴史と現状とを直接体験し、困難に果敢に挑戦した鹿児島をはじめとするわが国の先人たちの偉業とともに、世界に共通する進取の精神の重要性を理解する。また、ベトナムにおける政治、教育、農業、産業、工業の現状や課題を理解し、それら各分野における日本の関わりや役割を知ること、グローバルな視点と利他の精神の涵養を図る。【8日間】

1-4
前期

共通教育

G

森田 豊子

台湾国立成功大学・台湾国立高雄科技大学

本研修は、台湾の文化的な多様性を知り、鹿児島との歴史的な深い繋がりを理解することを目的とする。台湾は中国文化圏の一部として捉えられがちであるが、独自の文化を持つ。①漢民族が来る以前の先住民族について、②ベトナム人など東南アジアからの労働者を受け入れている現状、③日本統治時代に警察官や公務員として働いていた鹿児島県人の歴史等に触れ、台湾の歴史と文化的多様性を学ぶ。【10日間】

1-4
前期

共通教育

農

岡本 繁久

タイ モンクット王工科大学トンブリ校

講義名にある通り、バイオテクノロジー（略してバイテク）に係るビジネス界において世界水準で活躍できる人材の育成を目指す。農業大国タイは、農産物や加工品の輸出を目的として実践的なバイテク技術の強化を図ってきた。そこで、研修ではタイの農・食産業やそこで利用されるバイテク技術を見聞させる。加えて、親日国タイの歴史・文化及び日本との交流史を学ばせることで草の根レベルでの友好発展を目指す。【12日間】

1-4
前期

共通教育

農

橋本 文雄

華中農業大学・雲南農業大学

近年、目覚ましい経済発展を遂げている中国、特に湖北省と雲南省にて海外研修を行う。協定校の華中農業大学（武漢）および雲南農業大学（昆明）の学生との双方向の交流を通じて、異文化と歴史を理解するだけでなく、高等教育・農業と経済について両国間の関係を理解し、国際環境の中での「日本」をより深く認識し、進取の気風に資する国際的能力を身に付けることを目的とする。【13日間】

1-4
前期

共通教育

農

遠城 道雄

ミャンマー NPO 地球市民の会（TPA）

本講座は農林業を通じた『国際協力のあり方』を学ぶものである。事前講義を通じて渡航先の情報を得るとともに、日本の現状を知ったうえで渡航研修を行う。さらに、帰国後は帰国報告会での発表およびレポートの取りまとめによって理解を深める。渡航研修では、NPO「地球市民の会」が活動している農村やインレ湖を訪れ、教育問題、水問題、農業問題について調査・意見交換するとともに、文化交流を図る。【11日間】

1-4
前期

共通教育

G

中谷 純江

サンノゼ州立大学・Sebastopol World Friends

世界から移民が集まり、リベラルな気風で知られる米国・カリフォルニアにおいて、「多文化主義」「格差と福祉」「グローバリゼーションへの地域の挑戦」をテーマとする研修を行う。世界中の国々が直面するこれらのグローバル課題について、米国社会の現状と対応を現場から学ぶ。サンフランシスコ、サンノゼ、ソノマ郡セバストポリ市等を訪問し、一般家庭でのホームステイや市民との交流がプログラムの中心をしめる。【15日間】

1-4
前期

共通教育

G

難波 美芸

プラーバ大学

経済新興国として確実に成長を遂げているタイは、他の新興国や先進国と同様に、産業公害を含む環境汚染や気候変動の影響に晒されている。しかし、そうした中でも、創意工夫をして逞しく生活する人々の日常が存在している。本研修は、タイの環境と文化、社会の現状を、フィールドワークを通して現地の人々の視点から捉え、世界が直面する課題を、日本で暮らす私たち自身が関わる現実的な問題として考えることを目的としている。【13日間】

1-4
前期

共通教育

G

中谷純江

共通

ニコライ・ギュレメトフ

ノースダコタ州立大学

本学協定校のノースダコタ州立大学（NDSU）に3週間滞在し、英語特訓クラス、グローバル・スタディーズ基礎科目及び、各自の専門科目の授業への参加などを通して自立的に学ぶ。北米の大学に実際に留学したときと同じ環境を体験し、大学で授業や生活を通して、将来国際社会で活躍するために自分に何が欠けているか「気づき」を得ることを目的とする。【34日間】

稲盛

稲盛アカデミー

共通

共通教育センター

G

グローバルセンター

法文

法文学部

医

医学部

農

農学部

獣医

獣医学部

歯

歯学部

水産

水産学部

理工

理工学研究科

2-4
前期

高度共通教育

G

畠田谷 桂子

西オーストラリア大学

本研修では、鹿児島市と姉妹都市関係にある豪州パース市にて5週間、一般家庭にホームステイし、パース市民と生活を共にしながら人的繋がりを構築し、豪州屈指の西オーストラリア大学英語教育センター（UWA, CELT）で午前に英語集中コースを受講し、午後はパース市を学ぶ実地見学体験や日本語を学習している現地学生との交流・学習補助、ボランティア活動、現地進出日本企業の見学等を行う。*受講要件あり（シラバス参照）【38日間】

2-4
後期

高度共通教育

G

中谷 純江

サンノゼ州立大学・JABI (Japanese American Business Initiative)

本プログラムは、将来国際的な場で活躍できる研究者、技術者、教育者、起業家、会計士などのプロフェッショナル人材養成を目的とする4週間のコースである。本学の北米教育研究センター（サンフランシスコ）が企画し、学生の受け入れを行う。参加学生は、世界の頭脳と最先端の情報が集まる米国シリコンバレーでワークショップに参加するほか、現地で就業体験（Unpaid Internship）を行う。【35日間】

1-4
後期

法文学部専門

法文

酒井 佑輔

G

森田 豊子

トルコ アンカラ大学

本研修では、ムスリムが人口の多数派を占めるトルコを訪問する。日本でもインドネシア実習生などムスリムの受け入れが近年、増加しており、イスラーム理解及び、ムスリムとの対話の促進は喫緊の課題である。本学協定校のアンカラ大学の学生や市民との交流を通してイスラームの多様性を知るとともに、難民送り出し国でもあり、受け入れ国でもあるトルコで活動する日本のNGOを視察し、社会的課題について学ぶ。【13日間】



2-3
前期

法文学部専門

法文

兼城 糸絵・尾崎 孝宏

韓国 全北大学校

本研修は、文化人類学的フィールドワークを教育する上で入門編にあたる。以下の4点を目的として実施する。1. 韓国における異文化体験を通じて、自身の持つ文化的バイアスを自覚する。2. 文化相対主義的な視角を獲得する。3. 鹿児島大学の学生と全北大学校の学生が協力して、事前に決めたテーマに沿って初歩的な社会調査を体験する。4. 日韓という枠組みにおける異文化理解への到達プロセスの特性について認識する。【6日間】

4
前期

医学部専門

医

八代 利香 他

韓国 中央大学校赤十字看護大学・米国 Berea College

日米韓における離島・へき地医療の現状と専門職の役割を学ぶとともに、異文化への理解を深め、国際コミュニケーション能力とグローバルリーダーシップを養うことを目的とする。コロナ禍により、海外でのプログラム実施は困難であることから、2021年度は、離島住民のバーチャル家庭訪問を教材としたヘルスアセスメント教育を実施する。本学と米国と韓国の学生が共同でアクティブ・ラーニングのCOILを行う。

5-6
後期

医学部専門

医

橋口 照人

ソウル大学・ディボネゴロ大学/トロント小児病院/ミシガン小児病院 マサチューセッツ総合病院/マインツ大学医療センター

医学科6年生「選択実習」では、大学病院の他に、臨床教授が在籍指導できる県内もしくは海外の医療機関を学生が選択し、臨床実習を行うことができる。海外で実施する実習には、①先進的な医療に接する、②異なる医療システムや体制を学ぶ、③臨床研究を学ぶ、④多様な民族的背景を有する患者や医療スタッフ、学生に接する、⑤途上国での医療を学ぶ、などの目的を付加し、複数の国の医療機関での受け入れを準備している。

4
後期

歯学部専門

歯

西谷 佳浩・平間 雅博

台湾 高雄医学大学・香港大学

本プログラムでは、海外連携校の学生及び教員と英語で意思疎通を図り、異文化や宗教、異なる価値観に接し、海外の歯科システムを実際に学ぶ。ダイバーシティを理解すること、国際的な歯科に関わる課題を理解し、視野を広げることが目標とする。国際社会において卓越した貢献をなす医師・教育者・研究者を育成するとともに、国際感覚を持ち、地域でのグローバル化や活性化に貢献できる歯科医師の育成を行う。【7日間】

2

前期

農学部専門

海外研修

農 坂上 潤一

インドネシア ポゴール農科大学



農学・水産学をバックグラウンドに有し国際社会で活躍できる人材の育成を目標として、本プログラムでは、英語を用いたコミュニケーション能力の強化と安全な海外活動に必要な国際理解と基礎素養の習得を目指す。ポゴール農科大学での英語による農水産学科目の講義と英会話の実践、フィールドワークによる専門知識の習得、試験場やプランテーション、現地 JICA オフィスの視察などを予定している。【16 日間】

3-4

前期

農学部専門

国際食創システム学（食の安全）

農 濱中 大介

タイ メーファンラン大学



本講義は、一般的な食品衛生学の知識ならびに食品安全に関連する規格基準の基礎的な内容について、国際的な動向も踏まえつつ、英語でも理解することを目的としている。食品の安全に関する規制・管理が進むタイにおいて、GMP や HACCP をテーマに研修をおこなう。現在、日本企業は食品の輸出入に関して国際水準にもとづく日英両言語による管理が求められており、タイとの比較を通して、鹿児島県の現状を理解する。【11 日間】

3-4

後期

農学部専門

国際食創システム学（食と健康）

農 侯 徳興

ノースダコタ州立大学・湖南農業大学



米国ノースダコタ州立大学と中国湖南農業大学と鹿児島大学がノースダコタ大学で一堂に会して、英語による講義や学生の研究発表、現地の食料生産農場や食品加工製造工場の見学を行う。米国ノースダコタ州は、米国屈指の食料生産基地と食品生産基地であり、日本へも多くの生鮮品ならびに加工食品を輸出している。フィールドワークや合同セミナーを通じて、気候変動に直面する世界における食の安全と人の健康をテーマに議論する。【10 日間】

4

後期

農学部専門

国際食創システム学（食料生産）

農 後藤 貴文

テキサス A&M 大学・ジョージア大学・タイ チェンマイ大学



日本の和牛と US Beef 及びタイ Beef との生産システムや肉質に関する、リサーチ・プログラムを海外連携校と共同で実施する。異なる基準で牛肉生産を実施している国に行き、実際に牧場や食肉加工会社にて研修し、その状況を把握するとともに、課題などを抽出し、現地の学生と意見交換する。コミュニケーション能力の向上を目指すとともに、国際的に食肉業界で活躍できる資質を育成する。【11 日間】

4

前期

農学部専門

国際森林論

農 加治佐 剛・寺岡 行雄・奥山 洋一郎

ドイツ ロッテンブルク林業大学・フィンランド自然資源研究所



世界の農林業のうち、中でも環境に配慮した先導的な取組で有名なドイツおよびフィンランドの森林・林業・森林利用を見学し、森林観の多様性や異文化を理解する。森林環境教育、技術者育成、フォレストの役割と森林観、国際商品としての木材製品加工、地域活性化に向けた林産物生産、森林資源把握技術、林業の ICT 化、地域連携の事例を学ぶ。国際的な視野をもち、地域の森林管理の中心となる技術者の育成を目的とする。【13 日間】

2

前期

水産学部専門

海外研修 / 実用英語（海外研修）

水産 石崎 宗周

フィリピン大学ヴィサヤス校



地域の農・水産関連産業の国際化や活性化に貢献できる人材育成を目的とし、1. 国際的理解の基盤となるコミュニケーション能力の向上、2. グローバル視点・途上国視点・地方視点による問題解決能力の向上を図る。連携校における講義と現地学生との交流など演習を中心に構成されるプログラムを実施する。SEAFEDC や JICA 事務所など関連施設の視察を行い、国際協力事業の実際と途上国のニーズや役割について学ぶ。【17 日間】

1-6

前期

共同獣医学部専門

獣医学特別研修

獣医 三浦 直樹

ジョージア大学・台湾 国立中興大学



米国ジョージア大学（UGA）獣医学部の附属動物病院で臨床・ローテーションに参加するコースと、台湾中興大学獣医学部の臨床獣医学実習に参加するコースがある。UGA 獣医学部は古い歴史を有し、最先端の臨床実習の機会を学生に与えることができる。一方、中興大学獣医学部はアジアの獣医学教育における伝統校の1つである。UGA 及び中興大学の学生を本学での実習に受け入れる際には、交流をさらに深めることができる。【16 日間】

後期

獣医学特別研修

国際獣医学インターンシップ

獣医 有村 卓朗

VetAgro Sup（国立獣医学農学高等教育研究機関／リヨン獣医大学）



VetAgro Sup はフランス中部のリヨン郊外に位置し、世界で最も古く、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）と米国獣医師協会（AVMA）の両方の獣医学教育国際認証を取得している世界有数の獣医学教育機関である。本研修では、現地学生と共に一般実習や診療・臨床実習へ参加する。最先端の獣医療を体験し、海外の学生がどのような目的意識を持ち、いかなる教育を受けているかを現場で体験することでグローバルな視点を持つ獣医師を養成する。【10 日間】

M1-2

前期

大学院オープン

国際バイテク・リーダー育成

農 岡本 繁久

タイ モンクット王工科大学トンブリ校



講義名にある通り、バイオテクノロジー（略してバイテク）に係るビジネス界において世界水準で活躍できるリーダーの育成を目指す。農業大園タイは、農産物や加工品の輸出を目的として実践的なバイテク技術の強化を図ってきた。そこで、研修ではタイの農・食産業やそこで利用されるバイテク技術を見聞させる。加えて、親日国タイの歴史・文化及び日本との交流史を学ばせることで草の根レベルでの友好発展を目指す。【12 日間】

M1-2

後期

大学院オープン

理工系国際コミュニケーション海外研修

理工 新留 康郎

西オーストラリア大学附属英語学校・サンディエゴ州立大学附属語学学校
州立ニューヨーク・シティ大学附属語学学校

本プログラムは、グローバルに考え地域に貢献する人材に成長することを目的とする。異文化コミュニケーションを経験し、物事に柔軟な見方を身につけ、課題に対応することができる能力があらゆる分野で必要となる。このため、質の高い語学学校において大学院生向けに企画されたプログラムを受講し、国籍や文化を異にする多様な学生と英語で議論する。専門知識の習得に加えて実践的なコミュニケーションを行う。【74 日間】

M1

前期

大学院オープン

Tropical Fisheries

水産 石崎 宗周

フィリピン大学ヴィサヤス校



地域の農・水産関連産業の国際化や活性化に貢献できる人材育成を目的とし、1. 国際的理解の基盤となるコミュニケーション能力の向上、2. グローバル視点・途上国視点・地方視点による問題解決能力の向上を図る。連携校における講義と現地学生との交流など演習を中心に構成されるプログラムを実施する。SEAFEDC や JICA 事務所など関連施設の視察を行い、国際協力事業の実際と途上国のニーズや役割について学ぶ。【12 日間】



M1

前期

大学院専門（理工）

建築設計特別演習 I

理工 木方 十根

タスキエギ大学・ディボネゴロ大学



建築設計特別演習 I（建築設計コースワーク科目）の授業の一環として、アメリカ合衆国・タスキエギ市等においてタスキエギ大学が主催する建築ワークショップなどに参加し、都市環境の具体的調査に基づいた建築設計手法を学ぶ。この研修では特に、タスキエギ市街地等を対象とした都市分析、課題抽出、および課題に対する建築提案を行う。インドネシア・ディボネゴロ大学を含めた三大学連携で、オンライン学習及び実施研修を行う。【10 日間】

M1-2

前期

大学院専門（農）

HACCP 監査研修

農 濱中 大介

オクラホマ州立大学・タイ メーファンラン大学



食品物流のグローバル化が進む中、食の安全を確保するための国際基準（HACCP）に準拠することが、食品企業にとって不可欠となっている。しかし、鹿児島県では、HACCP 管理の実施だけでなく、その取り組みを監査する人材が不足している。本研修は、基本的な食の安全に関する知識を有する大学院生が、国際的な基準や海外の現状を学び、国際標準の監査スキルを身に付け、将来、指導的な立場で活躍する人材へと成長する一助となる。【11 日間】

M1

前期

大学院専門（農）

海外森林・林業事情

農 加治佐 剛・寺岡 行雄・奥山 洋一郎

ドイツ ロッテンブルク林業大学・フィンランド自然資源研究所



世界の農林業の中でも、環境に配慮した先導的な取組で有名なドイツおよびフィンランドの森林・林業・森林利用を見学し、森林観の多様性や異文化を理解することを目的とする。森林環境教育、技術者育成、フォレストの役割と森林観、国際商品としての木材製品加工、地域活性化に向けた林産物生産、森林資源把握技術、林業の ICT 化、地域連携等について学ぶ。国際的な視野や森林管理技術、交流におけるリーダーシップ育成を図る。【13 日間】



Study Abroad Road Map

ここまで約1年+α
かかります

留学
したいな～



情報収集

- ・P-SEG 登録
- ・全学留学説明会
- ・留学相談

伝えよう！
鹿大生の
海外体験



留学応募

留学候補生
決定！



留学要件達成
がんばるぞ



事前学習

- ・ネットワーキング
協定校からの留学生や
先輩・同期留学生との交流
- ・留学目的、計画の深化
- ・語学力と GPA の UP!
- ・日本、鹿児島、専門の勉強 ...

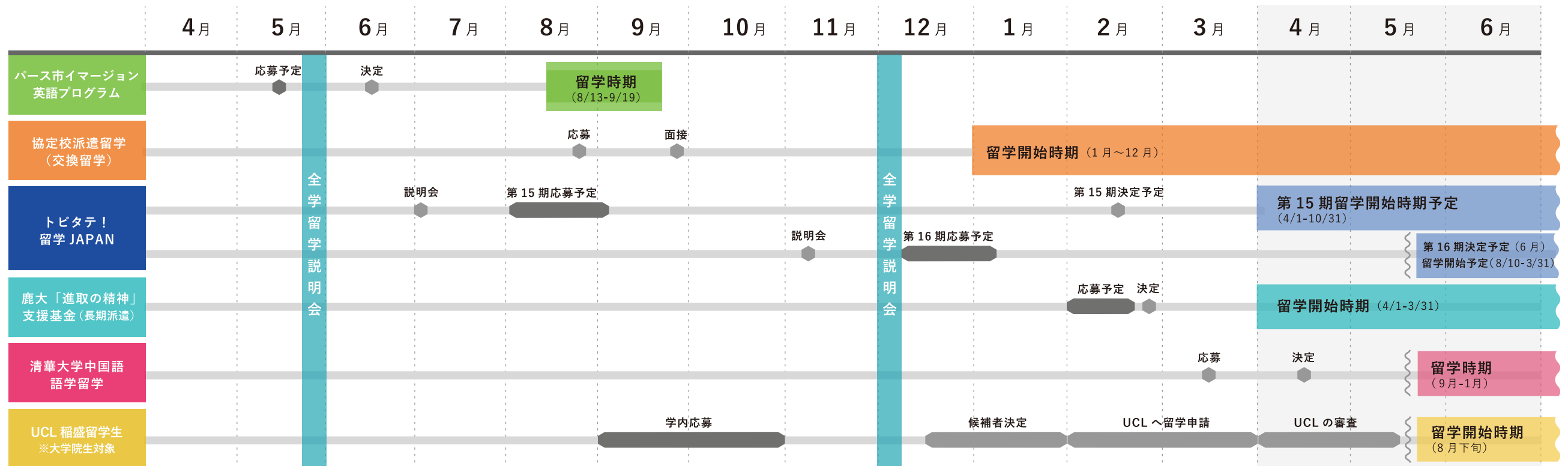
入学許可書
ゲット



留学準備

- ・留学手続き
- ・ビザ申請
- ・航空券
- ・保険手続き

いざ、出発！



留学情報検索ワード

鹿児島市 パース市イマージョン

パース市イマージョン英語プログラム

鹿児島大学 派遣留学

学術交流協定校への派遣留学制度

トビタテ

トビタテ！留学 JAPAN
日本代表プログラム

鹿大 進取の精神 留学

鹿児島大学「進取の精神」支援基金
学生海外派遣事業(長期派遣留学)

鹿児島県 清華大学

鹿児島県清華大学留学支援奨学金奨学生
清華大文学部対外漢語教育センター語学留学

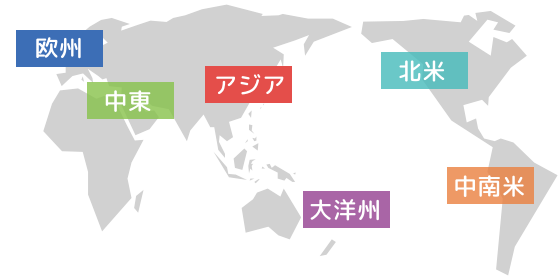
鹿大 UCL 稲盛留学生

鹿児島大学 21世紀版
薩摩藩英国留学生派遣事業 UCL 稲盛留学生

学術交流協定校との双方向交流 2018-2020 年度実績

本学と海外の学術交流協定校（以下、海外協定校）との間では、双方向の学生交流（派遣と受入）が行われています。海外協定校から本学に来ている留学生には、1 年未満の滞在の人たちが多く、本学での留学期間を終えると、在籍大学へ戻ります。彼らの留学中には鹿児島大学で、帰国後には海外で、又オンラインで交流することができます。様々な交流機会を設けていますので、自分の所属学部との協力教員やグローバルセンター教員に相談してください。特に、協定校への留学を希望する学生にとって、協定校からの留学生や先輩・同期との交流（ネットワーキング）は重要です。

国	協定校	対象学部	協力教員 留学相談、留学生受入等	派遣			受入		
				2020	2019	2018	2020	2019	2018
インドネシア	ディボネゴロ大学 *	全学	医・桑木				4	4	
	アンダラス大学	全学	農・鶴川				2	2	
	アイルランガ大学獣医学部	獣医	獣医・大和				2		
タイ	カセサート大学	全学	水産・江幡	2	2		1	1	
	国立モンクット王トンブリ工科大学	全学	農・岡本					2	
	メーファールアン大学	農	農・濱中					2	
韓国	釜慶大学校	全学	水産・江幡				2	1	
	全北大学校	全学	工・木方 / 法文・尾崎	2			3		
	群山大学校	全学	法文・中島（祥）				4		
	江原大学	全学	農・中西				2	4	
	祥明大学校	全学	法文・中島（祥）				1	3	
	江陵原州大学校	全学	法文・中島（祥）				1	4	4
	木浦大学校	全学	法文・萩野				2	1	
	忠北大学	全学	農・坂上					1	
	釜山大学校社会科学大学	法文	法文・平井	3			1		
中国	湖南大学	全学					3	3	
	湖南農業大学	全学	農・侯	1			3	3	
	重慶大学	全学	法文・中島（祥）	1			3	3	
	雲南農業大学	全学	農・橋本				1		
	華東政法大学	全学	法文・大野	1			2	1	
	南京工業大学	全学	教育・上谷				4	6	
	山東師範大学	全学	法文・尾崎				3	3	
	東北大学	全学	工・余				3	2	
	東北師範大学	全学					2		
	中南大学	全学	医・桑木				4	2	
	中国医科大学	全学	医・桑木				2	3	
	湘潭大学	全学	教育・梅崎	1	1		4	4	
	上海海洋大学	全学	水産・加藤				2	1	
	大連海事大学	全学	法文・松田				2	5	
	四川大学錦江学院	全学	農・高峯				1	2	
	徐州医科大学	医	医・桑木				1		
	内蒙古師範大学	法文	法文・尾崎				3	3	
	上海海事大学外国語学院	法文	法文・丹羽				3	3	
	長江大学外国語学院	法文	法文・尾崎				2		
	海南大学外国語学院	法文	法文・尾崎				2		
	大連海洋大学	水産	水産・江幡					1	



鹿児島大学学術交流協定校



鹿児島大学の学術交流協定校 165 機関のうち、交換留学が可能な大学は、大学間協定（全学の学生が留学可能）81 校と部局間協定（当該学部の学生のみ留学可能）49 校あります。留学先を考える参考にして下さい。

国	協定校	対象学部	協力教員 留学相談、留学生受入等	派遣			受入		
				2020	2019	2018	2020	2019	2018
	バングラデシュ	チッタゴン獣医動物科学大学	獣医	獣医・大和				2	
	フィリピン	フィリピン大学	全学	水産・石崎 / 獣医・三浦	1		1		
		フィリピンポリテクニク大学	法文	法文・西村	1	2	2	2	
	ベトナム	ハノイ貿易大学	全学				2	1	
		ベトナム国家農業大学 *	全学	農・岡本				1	
	マレーシア	マレーシアブトラ大学	全学		3				
	台湾	成功大学	全学	工・隅田	1		3	3	
		中興大学	全学	獣医・三浦			4	3	
		高雄大学	全学	法文・福永			1	1	
		高雄科技大學	全学	水産・安楽			2	2	
		国立台北教育大学	教育					2	
	オーストラリア	ニューイングランド大学 *	全学	法文・コーダ	2	2		2	
		シドニー工科大学 *	全学	法文・コーダ	2	2	3	2	
	アメリカ合衆国	ジョージア大学 *	全学	農・ヒッシャム / 獣医・三浦 / 法文・コーダ	1		1	1	
		サンノゼ州立大学 *	全学	G・中谷 / 法文・竹内	2		1		
	ブラジル	アマゾナス連邦大学	全学	法文・酒井	1		1	1	1
	スウェーデン	リンシェーピング大学 *	全学	法文・コーダ	2	1			
	スペイン	バレンシア工芸大学 *	全学		1				
	スロバキア	スロバキア農業大学	全学	農・ヒッシャム / 法文・西村	1	2			
	ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンプルク	全学	教育・内ノ倉 / 法文・竹岡	2	2	2	3	
		ボン大学	教育	共通・安東	2	1		1	
		ロッテンプルク林業大学 *	農	農・寺岡				1	
		ミュンヘン大学	法文	法文・中島（大）	2	2	1	1	
	ノルウェー	トロムソ大学	水産	水産・佐野（雅）			1		
	フランス	レンヌ第2オート・ブルターニュ大学 *	全学	法文・梁川	2	1	2	2	
		ボルドー・モンテーニュ大学 *	全学	法文・梁川	3	2	2	2	
		欧亜高等管理学院	法文	法文・梁川	2				
	イタリア	フィレンツェ大学	法文 / 工	法文・藤内 / 工・鯨坂	1				
	トルコ	アンカラ大学	全学	教育・上谷 / 法文・石田 / 獣医・三浦 / G・森田			1	3	1

注）いくつかの協定校 * は、応募条件に語学基準を設けています。留学に必要な資格試験（英語）についての相談を法文・コーダ教員が行っています。グローバルセンター に問い合わせ下さい。

トビタテ JAPAN に採択していただき、4 年生で休学し、半年間アフリカのザンビアに留学しました。緊張と不安で降り立ったアフリカの地は、想像とは全く違いました。1 日に 12 時間におよぶ停電断水、不衛生な環境、差別など、乗り越えなければならぬ壁がたくさんありました。苦しい日々もありましたが、日本にいたら感じないであろう感覚、感情を経験し、状況をよくするにはどうするか、自分自身で考え、行動する中で、自分の中にある新しい可能性や素質に気づくことができました。

半年間の生活で、自分の将来像だけでなく、価値観でさえ崩壊し、もう一度自分と向き合い、何者として生き

たいのか、日本に、世界に、何ができるか、何をしなければならぬのか考える機会となりました。なんとなく海外に興味がある人は、その不安を乗り越え、挑戦してみてください！

共同獣医学部 岡本理愛
ザンビア留学

トビタテ！ 留学 JAPAN



現在、海外に行ってみたいなと考えているみなさん、留学をしてみたいと思っているみなさんの中には「留学先ではたくさんの苦労があってひとりで克服しなければならない」と考えている方もいるのではないのでしょうか。半分正解で半分不正解だと私は思います。

語学や文化の壁を乗り越えるのは一人で頑張る必要があるかもしれませんが、寂しさや環境に独りで乗り越える必要はないと思います。トビタテでは同期間に約 400 名の仲間が留学をしています。きっと誰かと悩みの共有や現地で学んだことを深めることができると思います。

みんなと悩みを共有しながら困難を乗り越える。そんな留学をトビタテのコミュニティは可能にしてくれます。みなさんも新しい仲間を探しにトビタッテみませんか。

法文学部 山田航太 スウェーデン留学

海外研修は引率の先生や、感性の豊かな友人と寝食を共にして学ぶ場です。また、改めて大学生としての自身の価値観を築く時間だと私は考えています。関係を築くために歩み寄り努力をしたり、周囲と比較して悩んだり、工夫したりする過程が今後の大きな学びになります。

私は昨年シンガポール研修に参加し、シンガポールの文化や国家の成立の歴史、日本との関係について学びました。初めは多文化共生の実情を知りたいとの思いで研修に参加しましたが、そこで得られた最も大きな学びは自身の固定観念の認識でした。勉強やアルバイト、サークル活動などの日々の生活に追われていると、意外と自分自身の常識を

疑う機会は少ないのではないかと思います。未知の事実が新たな気づきを促す海外研修に参加して、今後の大学生活をますます充実させてください。



農学部 大野まどか シンガポール研修



私は学部 2 年の 2 月から 3 月にかけての約 3 週間、カリフォルニア州での現地企業訪問や英語でのワークショップを通じて、アントレプレナーシップ（起業家精神）や挑戦するマインドを養う研修に参加しました。

世界で最も多くのベンチャー企業が生まれる理由や多様な人種・宗教が入り混じる文化などを実際に現地の人と触れ合うことで理解することができ、工学部生として抱えていた進路や就職についての悩みや不安について大きなヒントを得ただけでなく、一人の人間として成長することができました。また、男女合わせて 9 人の仲間と一つの家で共に生活したことにより、家族のようなかけがえのない友達を作ることでも

できました。またもう一度参加したいと思えるほど充実していて、私の人生においても貴重な体験をさせてくれる素晴らしい研修でした。

工学部 内藤卓見 カリフォルニア研修

Students' Voices

私は 4 年生の時、タイのカセサート大学に留学しました。到着初日は、これから 10 カ月間今までと全く違う言語・文化とともに過ごして行くという不安から、大泣きしてしまいました。しかし、そんな不安を取り除いてくれたのが現地の学生たちと日本から一緒に来た留学生です。現地の学生とは一緒に授業を受けたり、授業後には学校内でデザートを食べに行ったりと、私は英語でのコミュニケーションが決して得意な方ではありませんでしたが、それにも関わらず繋がりを持つことができました。

日本から一緒に来た留学生とは月 1 のペースで部屋に集まり、ご飯を食べたり、誕生日会を開いたりして日本語オンリーの時間を楽しむこともありました（笑）。

残念ながら新型コロナの影響で 8 ヶ月での早期帰国となりましたが、この経験はこれからの人生の糧になるだろうと思っています。

法文学部 立花英利佳 タイ留学

協定校 派遣留学



「人生何十年もあるんだから、1、2 年くらい日本にいらなくてもよくない？」と、ルームメイトだった日本人女性が無邪気に放ったその言葉が、今でも深く印象に残っています。「海外留学へ行きたい」なんて言うと、周りからは「すごいね」とよく返ってきますが、多分そんなたいそうなことではないです。立派な目標を持つ義務もないです。海外の友達を作ってみたくとか、海外であれを学んでみたいとか、海外で英語を勉強してみたくとか、そんな素朴な気持ちを大事にして、受け入れてください。それを支えてくれる人たちが、鹿大にはたくさんいます。最後に、これを読んだ人が気軽に日本を飛び出し、自分にとっての素晴らしい経験をするのを、私は願っています。

法文学部 日高凌我 オーストラリア留学

短期 海外研修

私は、トルコの文化やイスラーム教について関心を持ち、トルコ研修に参加しました。トルコ料理やモスク、多くの有名な史跡などは、どれも刺激的でした。そのような魅力とは対照的に、私たち日本に住む人間も考える必要がある問題に直面しました。その一つが難民問題です。

アンカラに滞在中、シリア人難民の男性からお話を伺いました。家族とともにトルコにきたものの、お金や言語の問題を抱えており、娘の教育も十分ではないそうです。かろうじて仕事ができているが、生活は不安定だそうです。研修によって楽しい体験も増え、知識も増えます。しかしそれと同時に、世界に存在する種々の格差を知ることにもなります。私たちに何ができるのかを考える一つの動機となるでしょう。

法文学部 大田智仁 トルコ研修



1 年次は韓国語、2 年次はトルコ語のグロスぺに参加しました。私は韓国語を大学の講義で学んだことはありませんが、グロスぺではレベル別にクラスを振り分けてもらえるので安心して参加できました。留学生と日本人学生が揃えば、トルコ語のように大学で授業が開講されていない言語を学習できる点もグロスぺの大きな魅力です。また、グロスぺは留学生と友達になるきっかけ作りにもなります。私は韓国語のグロスぺで知り合った留学生と現在も連絡を取り合っており、写真のように韓国で一緒に観光をすることもあります。グロスぺに参加するのに大きな理由はないので、留学生と一緒に言語を学んでみたい気持ちがあればぜひ参加してみてください。

法文学部 厚地光優
グロスぺ（韓国語・トルコ語）

グロスぺ 外国語

